



医療法人社団 哺育会

桜ヶ丘中央病院

地域から信頼される，思いやりと礼節のある，患者さん中心の医療の実践



AGEO MEDICAL GROUP

立地



病院外観



病院概要

病床数：171床

3病棟：障害者病棟（維持期） 40床

4病棟：一般病棟（急性期） 45床

5病棟：回復期病棟Ⅰ 43床

6病棟：回復期病棟Ⅱ 43床

診療科：内科／外科／整形外科／小児科／眼科／皮膚科／

循環器内科／消化器外科／脳神経外科／神経内科／麻酔科

放射線科／リハビリテーション科

大きな病院ではないですが□
急性期から維持期、在宅と□
幅広く経験できます。□



病棟概要 <7Fリハビリ部門>



回復期リハビリテーション病棟の患者を中心に365日リハを実施



リハビリテーション科

リハビリテーション科 理念

- **地域社会に貢献**し，地域住民に信頼・満足していただける良質なサービスを実現する
- **発症から在宅**までの流れの中で，**医療・保健・福祉分野**において積極的なリハビリテーションを遂行する

リハビリテーション関連施設基準

脳血管リハ I	急性期病棟	ADL維持向上等体制加算
廃用症候群リハ I		
運動器リハ I	回復期病棟 1	体制強化加算2
呼吸器リハ I		
がん患者リハ		
集団コミュニケーション療法		

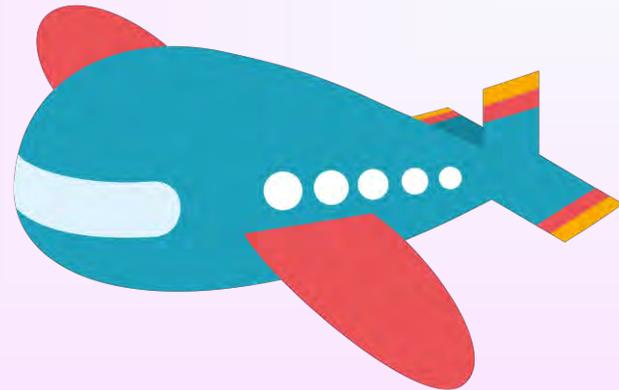
スタッフ構成

スタッフ数：84名
理学療法士：53名
作業療法士：20名
言語聴覚士：9名
受付・助手：2名

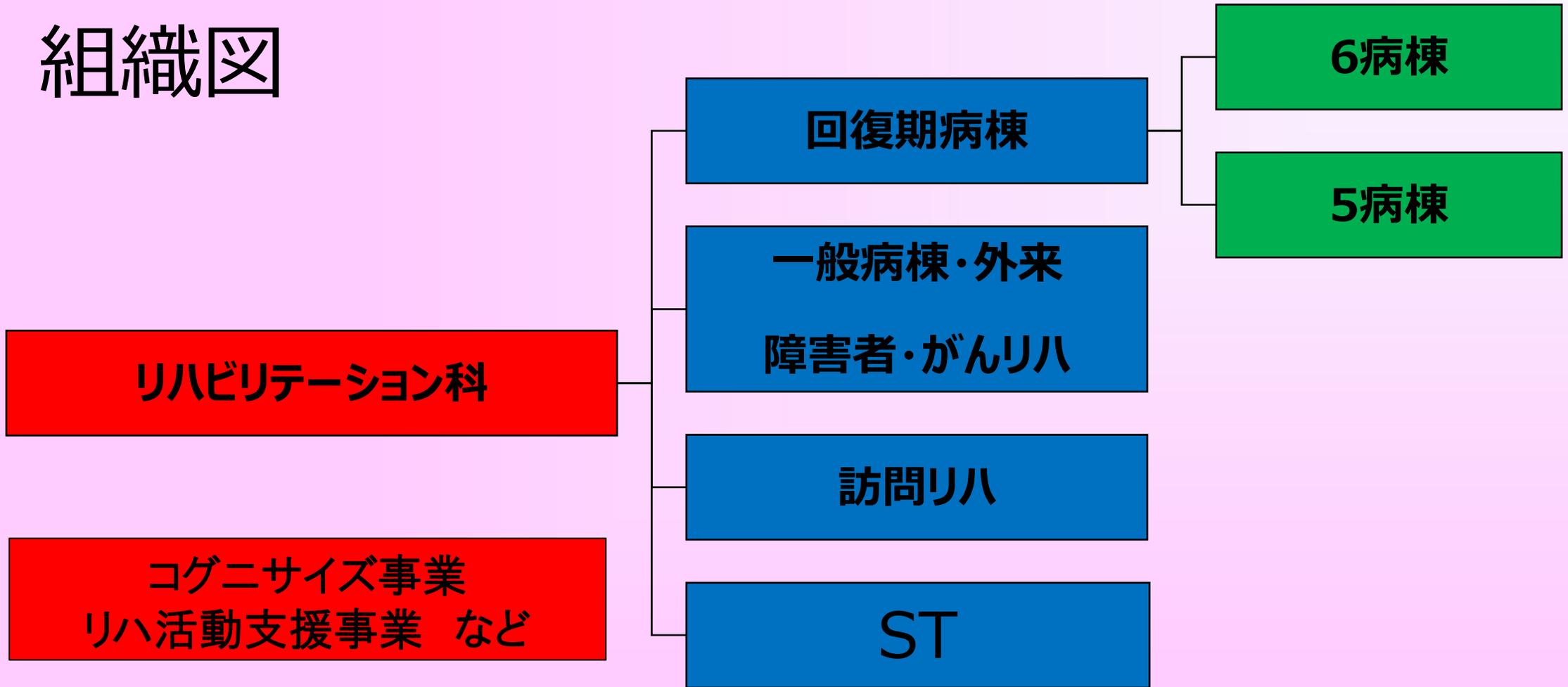
比率 男性1：女性2
県外入職者：九州～東北まで

内25%の方は遠方出身者で寮使ってます！

2021.4.1



組織図



※PT・OT混合チーム

STは病棟配属ではなく全てに関わる

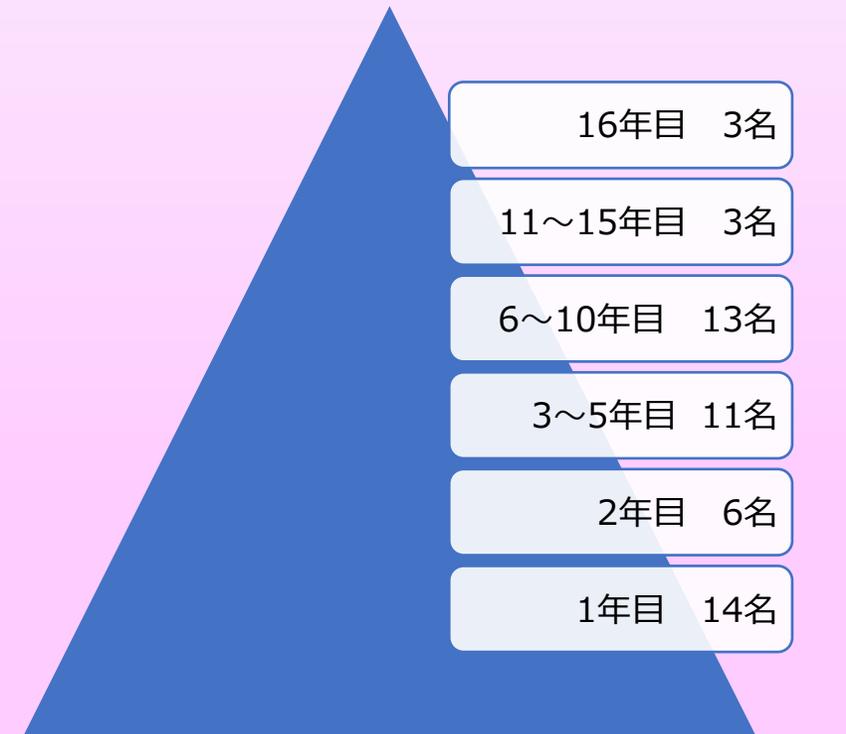
PT・OT・STの紹介

PT

- 回復期(5,6病棟), 一般・障害者・がん・外来, 訪問リハに分かれている
- 各チームを半年～1年単位でローテーションする
- スポーツ分野障害予防チーム
中学校での部活のケガ予防, 教員に対して障害予防の知識紹介

【主な疾患】

- 整形疾患 中枢神経疾患 呼吸器疾患 がん
廃用 神経難病 etc



OT

＜桜ヶ丘OT理念＞

本人やそれを取り巻く環境・人々が、納得し自律心を持って
今後の生活に向き合える状態

を目指しています

- 回復期(5,6病棟), 一般・外来・障害者・がんリハ, 訪問リハに分かれている. 訪問は2名専従
- 園芸を用いた集団活動やWiiなどのゲーム機器も治療として利用
- スプリントや自助具の作成も行うことがある

【主な疾患】

- 中枢神経疾患 整形疾患 (上肢・頸部・下肢)
呼吸器疾患 廃用症候群 神経難病 がん



10年目以上 4名

6～9年目 3名

3～5年目 6名

2年目 4名

1年目 3名

ST

- 回復期に関するスタッフ7名
 - 失語・高次脳機能障害・構音障害の患者が多い
 - 集団コミュニケーション療法を実施（2018年度～）
- 訪問リハに関するスタッフ2名専従（3名兼務）
 - 失語・高次脳機能障害の患者が中心
- 一般・障害者病棟に関するスタッフ2名
 - 嚥下障害の患者が9割を占め，評価のみの介入が中心
- あらゆる検査道具が揃っている
- 介護予防従事者4名
- 失語症友の会への参加（2回/月）・失語症講話会の開催
- 障害福祉分野に関するスタッフ2名

【主な疾患】

- 脳血管疾患 認知症



10年目 1名

6～9年目 5名

3～5年目 2名

2年目 1名



1日の流れ



8:30 始業	9:00	10:00	11:00	12:00	
科内朝礼 チームMT	リハビリ①	リハビリ②	リハビリ③	昼食	
13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	17:30終業
リハビリ④	リハビリ⑤	リハビリ⑥	リハビリ⑦	チーム終礼 環境清拭	遅番 勉強会

※回復期リハの基本的な1日の流れ。職種・チームごとに多少違いあり。

※受け持ち患者は3～6人。

学会・研修

- 学会発表推進 学会発表は勤務扱い
- 発表実績：2017年度-39演題
2018年度-44演題
- 予定研修会参加 勤務扱い 伝達講習必須
- チャレンジ研修（グループ内研修）あり

勉強会



リハ科内勉強会：適宜 全体にかかわる感染・安全・教育・災害等
症例発表：チーム内で1～2回程度、STはもう少し頻度が多い

PT：スキルアップ研修を1～3年目対象に毎月実施

OT：テーマごとに定期的開催

ST：毎週退院支援等について話し合いを実施したり毎月の勉強会

教育体制



【新人教育】

見学→既卒スタッフ中心に部分的関わり→新人中心に部分的関わり→
見守り下で新人が実施→自立

7月末の時点で18単位取得が目標（AMG目標）

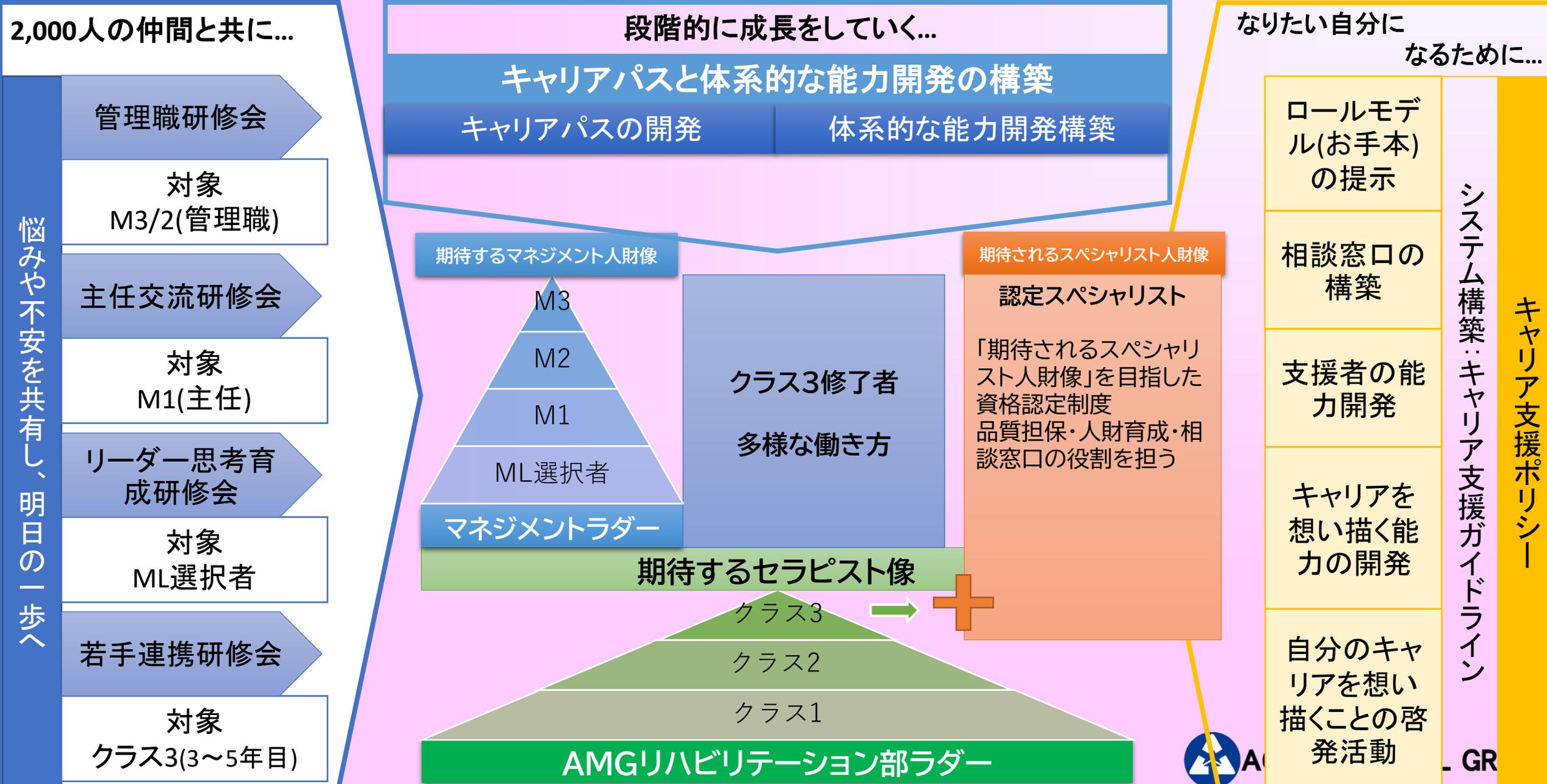
プリセプター制度

- 新人1名に対してプリセプター1名
- 2年目以上は2,3名に対して
プリセプター1名程度
- プリセプターは
PT・OT合同チーム内(基本的な業務)
PT・OT・ST各職種ごと(臨床的な相談)

ラダー・面談

- AMGラダー・マネジメントラダー
- チーム主任及び科長・係長との面談を
それぞれ半期に1回ずつ実施

●図1.AMGリハビリテーション部人財育成制度 2021年度版



各分野の紹介

障害者病棟

【主な疾患】

- 神経難病, 肺炎, 心不全, がん, 脳卒中後遺症

【特徴】

- 担当制ではなくチーム全員でそれぞれの患者と関わっている
- 介入頻度はPT・OT合わせて5-6日／週程度
- 疾患別のリハビリ期限以降も必要があれば継続
- 1回／月でリハレク実施（季節感, イベント感, 集団の力, 病棟連携）
- 神経難病・がん患者などとも関われる
- 自宅退院予定の患者には家屋調査を実施
- 2回／月でPT・OTミーティングを行い, 患者の現状把握・目標の見直しを行っている

一般病棟

【主な疾患】

- 整形外科疾患

人工関節置換術（THA・TKA）、大腿骨骨折、膝蓋骨骨折、下腿骨骨折、アキレス腱断裂、足部の骨折、腰椎椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症、後縦靭帯骨化症、圧迫骨折、骨盤骨折、上腕骨骨折、鎖骨骨折、肘頭骨折、橈骨遠位端骨折、手指骨折 等

- 呼吸器疾患（肺炎、COPD）

- 廃用症候群（外科手術後）

- 脳血管疾患

【特徴】

- ADL維持向上等体制加算（疾患別リハを行っていない患者が対象）

- 整形疾患は術前から介入あり（手術見学も可能）

- OTも疾患関係なく急性期からADLへ介入



回復期病棟

【主な疾患】

- 中枢神経疾患，整形疾患（大腿骨頸部骨折，圧迫骨折，多部位骨折など）

【特徴】

- 病棟ADLの自立度はリハが中心となって決定している
- 365日リハ実施
（脳血管リハ8.0単位/日，運動器リハ5.7単位/日）
- 入院時，退院前の家屋調査を積極的に実施
- リハレクの実施（1回/3ヶ月）



外来

【主な疾患】

- 整形外科疾患，脳卒中後遺症，神経難病，松葉杖指導，物理療法

【特徴】

- 入院とは異なる疾患の方も多い
（肩関節周囲炎や変形性関節症保存療法の方など）



訪問

- 専任PT1名OT3名ST2名 兼務PT5名OT2名ST2名

【主な対象】

- 介護認定を受けていて、在宅でのリハビリが必要な方
退院後の生活が不安、退院後の時間経過でADLが下がってしまった・・・等

【特徴】

- 実際の生活環境での訓練実施により、訓練内容が実生活に直結しやすい
- 訪問リハ利用者同士の交流会の企画・実施により社会参加機会の提供
- ケアマネージャー対象の勉強会・症例検討会の実施
- 定期的にデータベースの蓄積も行い、質の向上・学会発表を目指す
- デイサービスや通所リハとの情報共有・連携・協働



障害福祉リハビリテーション 推進事業

【目的】

- 障害者福祉施設スタッフに対し、医療的な視点やリハ的な視点を取り入れ、利用者の高齢化や障がいの重度化に対応できる知識やスキルを身につけてもらう
- 障害福祉分野と医療機関との連携強化

地域支援事業



【目的】

- 地域包括ケアシステムの構築の一翼をリハ専門職が担うため
- 自治会や老人会，社会福祉協議会などあらゆる団体からの依頼を受け、講話・体操・会議へ参加



コグニサイズ事業

【目的】

- 認知症予防には、M C I の段階での運動と認知課題を組み合わせた活動 = コグニサイズを行うことで、認知機能向上が期待できるといわれている。大和市の委託を受けて事業展開を行っている。
- 地域支援事業の1つ



近隣施設との連携

県央地区リハビリテーション連絡会

- 「顔の見える連携」・「人との繋がり」・「ブラッシュアップ」をテーマに、様々な講師を招いての勉強会や症例検討会などを実施



やまとリハビリテーション連絡会

- 市内のリハ関連職種とのネットワーク構築と多職種連携を目的に発足
- 施設紹介や取り組みなど交流を含めた企画や、地域包括ケアシステム構築に向けた企画を開催



地域の急性期病院との連携

- 脳卒中・大腿骨近位部骨折パスへ参加

(聖マリアナ医科大学横浜市西部病院・大和市立市民病院
横浜市立市民病院・藤沢市立市民病院・海老名総合病院)

- W S Mミーティング

W : 聖マリアナ医科大学横浜市西部病院

S : 桜ヶ丘中央病院

M : みどり野リハビリテーション病院

- 勉強会及び症例リレーを開催

- 2015年～年4回（1回/3月）実施 全20回開催

- リハビリスタッフを中心に管理栄養士・看護師・医師の参加



行事・サークル活動など

【リハ科行事】

- 歓送迎会，ボーリング大会，納涼会，忘年会など

【サークル活動】

- フィッシング，フットサル，バスケ，マラソン，登山，スノーボードなど

【AMG行事】

- AMG運動会，AMGバレーボール大会，各種学会（AMGキックオフ大会，CMS学会，AMG学会）



福利厚生

【社会保険】

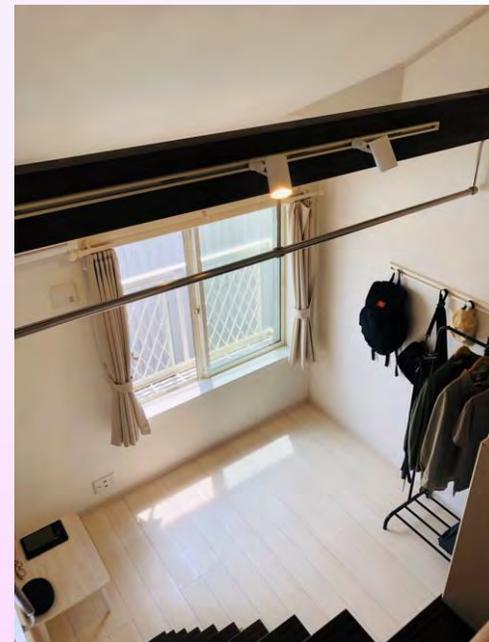
- 健康保険，厚生年金保険，労災，雇用保険

【独身寮】※要相談

- 1K・1Rタイプ（家賃折半，火災保険料・光熱費入居者負担，更新料病院負担） ※実績：5万～7万円、負担額2.5万～3.5万

【その他】

- 保養所（軽井沢，山中湖，那須）
- 医療費還付金制度（本人，一親等）



PTとして求める人材とは！？

- 様々な病期を診たい
- 地域での活動や訪問リハに興味がある
- コミュニケーション能力がある



OTとして求める人財とは！？

- 自分の意見を持ちつつ意見交換ができる
- OTの活動に協力してくれる
- 明るくポジティブ



STとして求める人材とは！？

- 回復期から訪問・生活期を学びたい
- 幅広く活動したい
- 失語症に興味がある



- 「様々な病期」にとどまらず業務全般で
様々な経験のできる環境です。
- 年数の近いスタッフが多いため、同期や先輩などスタッフ同士、
和気あいあいとした雰囲気働いています。
- 休みも希望が通りやすく、休日を有効に活かします。
- 都会ではありませんが、駅から1分という立地なので、
私生活もそれなりに快適（だと思っています）。

採用情報

勤務時間：8：30～17：30（休憩60分）

給与：193,400(基本給) + 15,000(住宅手当) + 12,000(調整給)
計220,400円

賞与：年2回（7・12月）※2020年度実績3.4ヶ月 + 勤務評定

昇給：年1回（4月）

交通費：100,000円/月まで支給

休日：10日/月（年間120日） 有給休暇（初年度10日 最高20日）

※調整給は勤続3年目，5年目で増額あり

採用試験について

桜ヶ丘中央病院HPで院内の様子を見ることができます！

Indoor View

<一次試験> 桜ヶ丘中央病院

- 適性試験, 面接

※試験日程：8月3日(火),7日(土)

9月7日(火),11日(土)

上記日程で難しい場合はご相談ください

<二次試験> AMG協議会リハビリテーション部(埼玉県上尾市)

WEB面接も可

- 面接

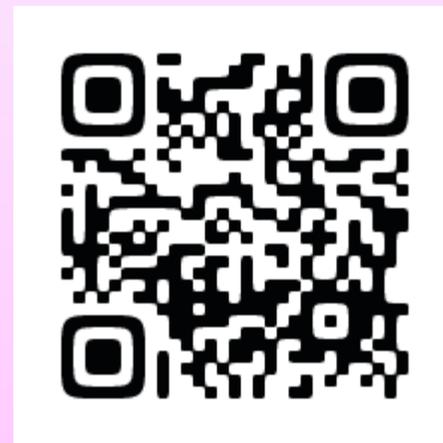
応募フォーム

病院見学



まずは見学に来て
みてください。お
待ちしております。

採用試験



採用担当：リハビリテーション科 川越もしくは総務課 藤田
TEL：046-269-4111（代表）

ご清聴ありがとうございました

